

2020年

第18回

一般社団法人 日本医療保育学会

近畿ブロック研修会

ZOOMによるオンライン開催

10月25日(日) 13:00~16:00

参加費 会員500円 非会員1000円 学生500円

お支払いにはクレジットカード・コンビニ支払い・Pay-easy等が選べます。

第1部 「病気の子どもと保育士の対話の質を高める」

講師 谷川弘治 神戸松蔭女子学院大学

第2部 「モノ・道具がひらく『共感』可能性」

講師 門前斐紀 金沢星稜大学

参加方法

Zoomを使用。

ご自身のパソコン・スマートフォン
・タブレット端末でのご参加

*インターネット環境が必要です。

*要事前申し込み（右記QRコードより）

*詳細裏面



ごあいさつ

皆様こんにちは。新型コロナウイルスの影響で今年度は本研修会初のオンライン開催とさせていただきます。コロナ禍ですが、学ぶことでいつもの自分らしさを取り戻す。そんな研修会になればよいと思っています。今回、魅力的な二人の先生に講義をお願いいたしました。『医療保育セミナー』（医療保育学会編、建泉社、2016）の執筆者であり長年に渡り医療保育界を見守り・リードして下さっている谷川弘治先生と、画家としてもご活躍中で注目の若手研究家門前斐紀先生です。この変動の時代の中、医療を要する子どもたちは、これまで医療保育が向き合ってきた感染や隔離等の課題を前に一層不安を抱えているのではないのでしょうか。今、より一層質の高い医療保育が求められていると思います。医療保育とは何か、子どもとはどのような存在かと考えを深めることで豊かな医療保育が展開されることを願います。全国どこからでも参加が可能です。オンラインで多くの皆様にお会いできることを楽しみにしています。

プログラム	13:00	開会
		第1部「病気の子どもと保育士の対話の質を高める」
	14:30	休憩
	14:40	第2部「モノ・道具がひらく『共感』可能性」
	16:00	閉会

司会 浅井健介 京都大学大学院博士課程

講師と講演内容



谷川弘治先生 Koji Tanigawa 神戸松蔭女子学院大学

保育士のみなさんとともに進めてきた多職種研修プロジェクトと並行して進めてきました医療保育実践のプロセス評価の研究から、いくつかお話をさせていただきます。医療の場で、子どもに寄り添う保育士が「はたらきかけ」をどのように選択しようとしているのかを軸に、実践の質を高めるために必要なことを、みなさんと検討してみたいと考えています。



門前斐紀先生 Ayaki Monnzen 金沢星稜大学

戦前戦後日本において障害者福祉の充実を図った糸賀一雄と、その師・木村素衛の身体論、道具論を主な手がかりとして、モノとの関わりを通した子ども理解、「共感」可能性、遊びの構想などについて考えます。子どもたちが身体レベルで環境と呼応しながら、周囲のモノや道具を介して掴む世界の見え方について、イメージを膨らませてみたいと思います。

●参加申し込み・支払い方法

本研修会では、イベントペイを利用し参加申し込み・参加費支払いを行います。

締め切り：10月23日(金) までにお申し込みとお支払いを終えてくださいますようお願い致します。

1. 右記QRコードよりアクセス
2. お名前/電話番号/お支払い方法等を入力
3. 各種方法でお支払い下さい。

*参加方法の詳細は研修会お申し込み後にご案内いたします。

定員にゆとりはありますが満員の場合は会員優先の先着順とさせていただきます。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=6131479396029659&EventCode=P931802595

QRコードはこちら



◎オンライン参加事前練習時間（希望者のみ）無料

今回はZoomを使用し研修会を行います。Zoomは使ったことがないという方、使ったことがあるけれど慣れていないので不安という方にZoomでの参加が可能か確認する練習時間を設けたいと思います。日時は

10月17日(土) 10:00-10:30・10月18日(日) 10:00-10:30です。

ご希望の方は10月15日(木) までに kinki.iryuhoiku@gmail.comへ

①お名前②ご職業③メールアドレス④ご希望の日程⑤「zoom練習希望」

上記を記載したメールを送信して下さい。詳細と練習への参加方法をお知らせいたします。